

横田楓江

よこた ふうけい

儒者、善田邊藩士。文政元年江戸（田邊藩邸）生れ、

明治十六年十二月二十八日歿（八十一）。諱清、字千徳、通稱仙五

郎、右五郎。別號紫清。佐藤（齋）の儒學を、箕作阮甫の蘭學を學ぶ。

各地を巡歴して蝦夷に赴き、北邊蝦夷地を藩に下す。嘉永二年、海外

新話『（楓江釣入名。のち東洋漁人論』清英阿片之騒亂』明治二十一

年一月（二十五日清國）を著し、幕府の忌諱に觸れて禁筆（二年の

のちニ都拂ひ處分となる。追放後房總を轉々、元治元年藩命により歸

藩して藩士の學問を督う、次に從軍。維新後房總に居り、私塾を開く

など著書に遺した。

歿後『楓江遺草』（明治二十二年十月會城深編）等。また、明石右吉五郎

著『横田楓江』（大正八年八月十五日刊・十華齋次馬刊）がある。